



Ferris wheel (観覧車の夢)

天空に遊び、ひととき鳥になる夢を
大人も子どもも老婆も老父も、犬も猫も
シマウマさえも見た
足が地から離れ、遙かな大地を望んで
甘き蒼空の風を吸った

100年前、巨大な輪の先に
ゴンドラをぶら下げ
天と地を果てしなく訪問し続ける装置を
発明した男は
喝采をもって迎えられたヒーローだった

天空に遊び、ひととき鳥になるという
さやかな夢は、しかし直ちに地に戻る

天と地を果てしなく回る軌道を
身の内にもって入反響するかもしれない
ため息が出るほどの寂寥を
たとえ、距離の永遠を少年が確信し
探っていたとしても

地に降りるための空への逃げ道は
希望に満ちた未来への扉を開くために
観覧車の100年の夢は
夢じき大地と天空に舞い上がり
無限の時間の中でゆるやかに回り続ける

※G.W.G.Ferris
(1859 - 96) 観覧車の発明者である米国技術師

小林 尚美 (Cosmic Ring)

1994年生まれ。1999年武蔵野美術大学産業デザイン工芸工
科卒業。現代アーティストによる国際コンペティションで金賞を
含む各賞受賞。美術館、企業による作品所蔵多数。
撮影者：小林正和